

平成23年度
第54回 東北農業試験研究発表会
プログラム

(水田作・畑作・畜産・果樹・野菜花き・流通加工・経営の7部会)

開催期日 平成23年8月10日(水) 9:30～16:00

開催場所 秋田県民会館 ジョイナス

(秋 田 県 秋 田 市)

主 催 東 北 農 業 試 験 研 究 協 議 会
共 催 (独)農業・食品産業技術総合研究機構 東北農業研究センター
協 賛 農 林 水 産 省 東 北 農 政 局
秋 田 県

- 16 葉緑素計と葉色板の關係の品種・系統間比較 ○錦早坂秀斗・柴田康志*
剛・松田志晃** (山形県庄内総合支庁
*山形農総研七水田農試
**山形農総研セ)
- 17 水稻玄米品質が維持できる籾数別の生育及び収量構成要素の特徴 ○浅野真澄・菅野博英
遠藤弘樹* (宮城古川農試
*宮城県北部地方振興事務所)
- 18 2010年の青森県における黒点症状米の発生特徴 ○石岡将樹・清藤文仁 (青森産技七農林総研)
- 19 水稻新品種「つや姫」の登熟期間日平均気温と品質・収量・食味との關係 ○浅野目謙之・松田田孝晃
遠藤藤昌斗幸夫・今柴田康志*
錦美夫 (山形農総研セ)
*山形農総研七水田農試)

畑作部会 [秋田県民会館 ジョイナス3階 研修室5]

(○印 講演者 講演時間 15分 質問時間 5分 計20分)

- 9:30 ~ 12:10 -

- 1 最近30年の大豆生産力試験における生育の変動と気温との關係 ○湯本節三信・菊池彰夫 (東北農研)
- 2 播種期がダイズ「リュウホウ」の適栽植密度と生育収量に与える影響 ○大江和泉・持田秀之 (東北農研)
- 3 一株本数と栽植密度がダイズの生育収量に与える影響 ○持田秀之・大江和泉 (東北農研)
- 4 秋田県南地区におけるリュウホウの内部品質の実態把握と要因解析 ○佐藤健介・松波寿典
須田康*・高橋勇太**
小笠原泉*** (秋田農技七農試
*仙北地域振興局
**平鹿地域振興局
***由利地域振興局)
- 5 土壌 pH の変化による形態別カドミウム濃度とダイズ子実カドミウム濃度の關係 ○岡田泰明・吉住佳与* (中央農研
*東北農研)
- 6 めん用小麦「あおばの恋」における子実タンパク質含有率と温麺のゆで麺官能評価との關係 ○千田正洋・武田松夫*
神崎正明・辻本淳一 (宮城古川農試
*白石興産株式会社)
- 7 小麦「ネバリゴシ」における開花期以降の高温と湛水が子実肥大に及ぼす影響 ○工藤忠之 (青森産技七農林総研)
- 8 2010年に発生した小麦の凍霜害と被害麦に対する窒素追肥の効果 ○齋藤隆登*・遠藤あかり (福島農総セ
*福島県農業支援総合環境保全農業課)

- 13:10 ~ 14:30 -

- 9 小麦の密条用小畦立て播種機の開発と効果 ○高橋昭喜・渡邊麻由子 (岩手農研セ)
- 10 「会津のかおり」の品質向上につながる収穫適期と調製水分 ○鈴木哲・小野和広*
菊渡伸広*・菅野拓朗** (福島農総セ会津地域研
*福島県ハイテクプラザ会津若松技術支援センター
**福島県相双農林事務所農業振興普及部
***福島県南会津農林事務所農業振興普及部)
- 11 油糧用ヒマワリの効果的な除草法 ○平山孝 (福島農総セ)
- 12 防虫網と隔離距離によるセイヨウナタネの交雑抑制効果 ○本田裕・川崎光代 (東北農研)

畜産部会〔秋田県民会館 ジョイナス1階 研修室1〕

(○印 講演者 講演時間 15分 質問時間 5分 計20分)

- 9:30 ~ 12:10 -

- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | 交配計画策定プログラム「豚交配管理支援システム」 | ○佐々木 直 | (岩手農研セ畜産研) |
| 2 | 晩秋に施用されたバイオガスプラント由来消化液中の無機態窒素の動態と飼料用トウモロコシ収量等への影響 | ○堀 間 久 巳 | (岩手農研セ畜産研) |
| 3 | 乾燥温度の違いが屑ながいものルーメン内消化に及ぼす影響 | ○遠 藤 実 央 子 ・ 佐 藤 義 人 | (青森産技セ畜産研) |
| 4 | 秋田県に適した稲ホールクロップサイレージ専用品種 | ○佐 藤 寛 子 ・ 渡 邊 鉄 潤
加 藤 真 姫 子 ・ 植 村 鉄 矢 | (秋 田 農 技 セ 畜 試) |
| 5 | 黒毛和種育成期における飼料用米ソフトグレインサイレージ給与技術の開発 | ○酒 出 淳 一 ・ 植 村 鉄 矢
佐 藤 寛 子 ・ 植 渡 鐵 潤
関 屋 万 里 生* | (*秋 田 農 技 セ 畜 試)
(*由 利 地 域 振 興 局) |
| 6 | 飼料用米 SGS 調製のための簡易加水器 | ○石 山 徹 | (山 形 農 総 研 セ 畜 試) |
| 7 | 黒毛和種の育成及び肥育牛への飼料用米給与技術 | ○鈴 木 庄 一 ・ 荻 野 隆 明
伊 藤 一 等* ・ 矢 内 清 恭* | (福 島 農 総 セ 畜 産 研 沼 尻 分 場)
(*福 島 農 総 セ 畜 産 研) |
| 8 | シバ草地に親子放牧した日本短角種の発育と栄養評価 | ○山 口 学 | (東 北 農 研) |

- 13:10 ~ 14:50 -

- | | | | |
|----|--|----------------------|---|
| 9 | トウモロコシサイレージの乳牛育成期からの長期給与が発育および産乳成績に及ぼす影響 | ○高 野 真 理 安 ・ 三 上 豊 治 | (山 形 農 総 研 セ 畜 試) |
| 10 | TMR における破砕処理トウモロコシサイレージ多割合が産乳性に与える影響 | ○木 戸 場 結 香 | (岩 手 農 研 セ 畜 産 研) |
| 11 | 分娩前の乳汁検査による乳房炎の発生予察 | ○齋 藤 美 緒 ・ 山 本 み どり* | (福 島 農 総 セ 畜 産 研)
(*福 島 県 南 家 保) |
| 12 | アンモニア回収装置の高度化
- 薬液濃度自動調整による酸性薬液使用量の削減 - | ○福 重 直 輝 | (東 北 農 研) |
| 13 | エトキサゾール油剤ポアオン法のダニ防除効果とハエ類への影響 | ○白 石 昭 彦 | (東 北 農 研) |

果樹部会〔秋田県民会館 ジョイナス 2階 研修室3〕

(○印 講演者 講演時間 15分 質問時間 5分 計20分)

- 9:30 ~ 12:10 -

- | | | | |
|---|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------|
| 1 | リンゴ新品種「岩手5号」の主要特性 | ○畠 山 隆 幸 ・ 高 橋 司
及 川 耳 呂 | (岩 手 農 研 セ) |
| 2 | 「青台3」台木におけるリンゴ「王林」果実の無機成分特性 | ○澤 田 歩 ・ 新 谷 潤 一 | (青 森 産 技 セ リ ン ゴ 研) |

- 3 リンゴの安定生産を目的とした授粉専用品種の特性 ○高 橋 隆 司幸 ・ 及 川 耳 呂 (岩 手 農 研 セ)
- 4 リンゴわい性台木利用による各種樹形の生育、収量及び果実品質 ○工 藤 智 ・ 新 谷 潤 一 (青 森 産 技 セ リ ん ご 研)
- 5 ラズベリーにおける吸枝長と吸枝密度が収量に及ぼす影響 ○高 橋 秀 昌 ・ 佐々木 泰 子* (山 形 県 最 上 総 合 支 庁 農 業 技 術 普 及 課 産 地 研 究 室
* 山 形 県 病 害 虫 防 除 所)
- 6 リンゴ‘やたか’に対する1-ナフタレン酢酸ナトリウム水溶剤の裂果軽減効果 ○佐 藤 善 政 ・ 森 田 泉 (秋 田 農 技 セ 果 樹 試)
千 田 さ ゆ り
- 7 雪中貯蔵がリンゴ‘ふじ’の食味に及ぼす影響 ○鈴 木 均 ・ 増 田 忠 蔵* (青 森 産 技 セ リ ん ご 研
* 岩 木 山 雪 蔵 り ん ご 会)
- 8 カキ「平核無」の脱渋方法の違いとアミノ酸類含量 ○近 野 広 行 ・ 荒 澤 直 樹* (山 形 県 庄 内 総 合 支 庁 農 業 技 術 普 及 課 産 地 研 究 室
* 山 形 県 庄 内 総 合 支 庁)

- 13:10 ~ 15:30 -

- 9 早期被覆によるオウトウの結実安定技術 ○今 部 恵 里 信 ・ 米 野 智 弥 (山 形 農 総 研 セ 園 芸 試
* 山 形 県 村 山 総 合 支 庁 西 村 山 農 業 技 術 普 及 課
** 山 形 県 村 山 総 合 支 庁 農 業 技 術 普 及 課)
- 10 日本ナシ‘あきづき’の環状剥皮による側枝更新法 ○大 沼 欣 生 ・ 池 田 裕 喜 (宮 城 農 業 ・ 園 芸 総 研)
高 嶋 名 世 瑠
- 11 早期成園化に適するブドウ‘シャインマスカット’の仕立て方 ○米 野 智 弥 ・ 工 藤 信 (山 形 農 総 研 セ 園 芸 試
* 山 形 県 村 山 総 合 支 庁 西 村 山 農 業 技 術 普 及 課
** 山 形 県 村 山 総 合 支 庁 農 業 技 術 普 及 課)
- 12 秋田県における果樹剪定枝の処分の現状と今後の利活用に関する意識調査 ○上 田 仁 悦 (秋 田 農 技 セ 果 樹 試 天 王 分 場)
- 13 オウトウ栽培における有機質資材の施用が生育と果実品質に及ぼす影響 ○塩 野 宏 之 ・ 山 田 広 市 朗* (山 形 農 総 研 セ 園 芸 試
* 山 形 県 置 賜 総 合 支 庁 農 業 技 術 普 及 課
** 山 形 県 立 農 業 大 学 校)
- 14 ラズベリーにおける白色反射資材によるアザミウマ類防除 ○照 井 真 ・ 上 田 仁 悦* (秋 田 農 技 セ 果 樹 試
* 秋 田 農 技 セ 果 樹 試 天 王 分 場)
- 15 フツウカブリダニおよびミヤコカブリダニの発生に及ぼす殺虫剤の影響 ○佐々木 正 剛 ・ 星 博 綱 (福 島 農 総 セ 果 樹 研)
瀧 田 克 典

野菜花き部会 [秋田県民会館 ジョイナス3階 研修室4]

(○印 講演者 講演時間 15分 質問時間 5分 計20分)

- 9:30 ~ 12:10 -

- 1 貯蔵苗を利用したネギの初夏どり作型の開発
-貯蔵苗のキュアリングおよび形態が収量に及ぼす影響 ○山 崎 博 子 ・ 矢 野 孝 喜 (東 北 農 研)
長 菅 香 織 ・ 稲 本 勝 彦
- 2 岩手県における若苗利用トマト抑制作型栽培技術 ○高 橋 拓 也 (岩 手 農 研 セ)
- 3 秋田県におけるエダマメのトンネル被覆と移植による作期の前進 ○本 庄 求 (秋 田 農 技 セ 農 試)
- 4 二槽ハンモック気化冷却ベンチに付加する送風システムの改良による夏秋どりイチゴの収量向上技術 ○廣 野 直 芳 ・ 長 澤 さ ゆ り* (山 形 県 最 上 総 合 支 庁 農 業 技 術 普 及 課 産 地 研 究 室
* 山 形 県 立 農 業 大 学 校
** 山 形 農 総 研 セ)
大 木 淳**

- 5 フキノトウ専用新品種「春音」の育成と品種特性 ○岡 部 和 広 (山形県最上総合支庁農業技術普及課産地研究室)
- 6 山形おきたま伝統野菜「薄皮丸なす」の特性評価 ○加 藤 栄 美 ・ 奥 山 寛 子* (山形県置賜総合支庁農業技術普及課産地研究室)
○本 多 あゆみ*
- 7 アスパラガスのトンネル被覆による作期前進と茎枯病軽減 ○常 盤 秀 夫 (福島農総七浜地域研究所)
- 8 開閉作業が省力化できる簡易開閉式トンネル 相 澤 正 樹* ・ ○山 村 真 弓** (*宮城県農産園芸環境課)
高 橋 正 明 ・ 結 城 真 真** (*宮城農業・園芸総研)
元宮城農業・園芸総研

- 13:10 ~ 15:50 -

- 9 高齢者の作業実態調査に基づいた農作業指標の策定 ○高 橋 正 明 ・ 村 田 和 浩 (宮城農業・園芸総研)
相 澤 正 樹*
- 10 夏秋どりイチゴ栽培における培養苗の育苗方法 ○柴 田 昌 人* ・ 高 野 岩 雄 (宮城農業・園芸総研)
鹿 野 弘*
- 11 カンパニュラ・メジュームの長日処理が開花時期及び切り花品質に及ぼす影響 ○宗 方 宏 之 ・ 鈴 木 安 和 (福島農総七)
- 12 半促成栽培における施設内環境条件がリンドウの切り花品質に及ぼす影響 ○矢 島 豊 ・ 山 口 繁 雄* (福島農総七)
宗 方 宏 之 ・ 福 島 農 総 七 福 島 県 い わ き 農 林 事 務 所
- 13 ニゲラの開花に及ぼす各種新光源の効果 ○高 橋 秀 典 ・ 本 多 めぐみ* (宮城農業・園芸総研)
鈴 木 誠 一 ・ *宮城県農産園芸環境課
- 14 小ギク品種の白さび病抵抗性と白さび病菌レース ○板 橋 建 ・ 千 葉 直 樹 (宮城農業・園芸総研)
瀬 尾 直 美 ・ 鈴 木 誠 一
- 15 バラ養液栽培における日射および水分センサーを用いた自動給液制御技術 ○酒 井 友 幸 ・ 永 峯 淳 一* (山形農総研七園試)
佐 藤 武 義 ・ 伊 藤 友 幸
- 16 サクラ「啓翁桜」の早期促成における低温処理温度が開花、品質に及ぼす影響 ○佐 藤 武 義 ・ 酒 井 友 幸 (山形農総研七園試)
西 村 林 太 郎* ・ 伊 藤 友 幸

流通加工部会 [秋田県民会館 ジョイナス1階 研修室2]

(○印 講演者 講演時間 15分 質問時間 5分 計20分)

- 13:00 ~ 15:00 -

- 1 ヒエ、キビ、ハトムギの抗糖尿病作用 ○渡 辺 満 ・ 清 水 恒 (東北農研)
仲 條 真 介* ・ *岩手農研七東北農研
- 2 平成22年産低アミロース短程ヒエのORAC値 ○清 水 恒 ・ 仲 條 真 介* (東北農研)
*岩手農研七東北農研
- 3 エゴマ加工品の酸化抑制法 ○関 澤 春 仁 (福島農総七)
- 4 乾燥機の利用が染色用紅花加工品の品質に及ぼす影響 ○勝 見 直 行 ・ 佐 々 木 恵 美* (山形農総研七)
*山形村山総合支庁農業技術普及課
- 5 粒厚別原料米の乾式・气流粉碎による製粉及び製麺特性 ○勝 見 直 行 ・ 佐 々 木 恵 美* (山形農総研七)
*山形村山総合支庁農業技術普及課

6 めん用小麦「あおばの恋」を原料とした白石温麺のエイジング

○大久長範・武田松夫*
千田洋**

(宮城大学食産業学部
*白石興産株式会社)
**宮城県古川農業試験場

経営部会 [秋田県民会館 ジョイナス1階 研修室2]

(○印 講演者 講演時間 15分 質問時間 5分 計20分)

- 10:00 ~ 11:20 -

- | | | | |
|---|---|--------------------------------------|--|
| 1 | 2000~2010年における農業労働力の動向分析
-販売農家男子を対象として- | ○堀川 彰 | (東 北 農 研) |
| 2 | 寒冷地におけるセル大苗7月どりネギ栽培の経営評価 | ○鶴沼秀樹・本庄求*
進藤勇人*・代幹雄**
片平光彦*** | (秋田農技七企画経営室
*秋田農央七農試研
**山形大農学農学部
***山形大農学農学部) |
| 3 | 戸別所得補償モデル事業の加入と評価の特徴
-山形県庄内地域のアンケート調査から- | ○関野幸二・迫田登稔* | (東 北 農 研)
*中 央 農 研) |
| 4 | 食行動記録データの分析による購買動機の解明 | ○磯島昭代・大浦裕二*
山本淳子* | (東 北 農 研)
*中 央 農 研) |

当会の活動、会誌の発行等に対し下記の会社より賛助をいただきました。
ここに会社名を掲載し、謝意を表します。

東北農業試験研究協議会

記

株式会社 岩手クボタ
クミアイ化学工業株式会社
株式会社 キセキ東北
河北印刷株式会社
コープケミカル株式会社
ネボン株式会社

日本曹達株式会社
セントラル合同肥料株式会社
太平物産株式会社
東籾マテリアル・テクノロジー株式会社
株式会社 渡辺採種場
株式会社 山清商店

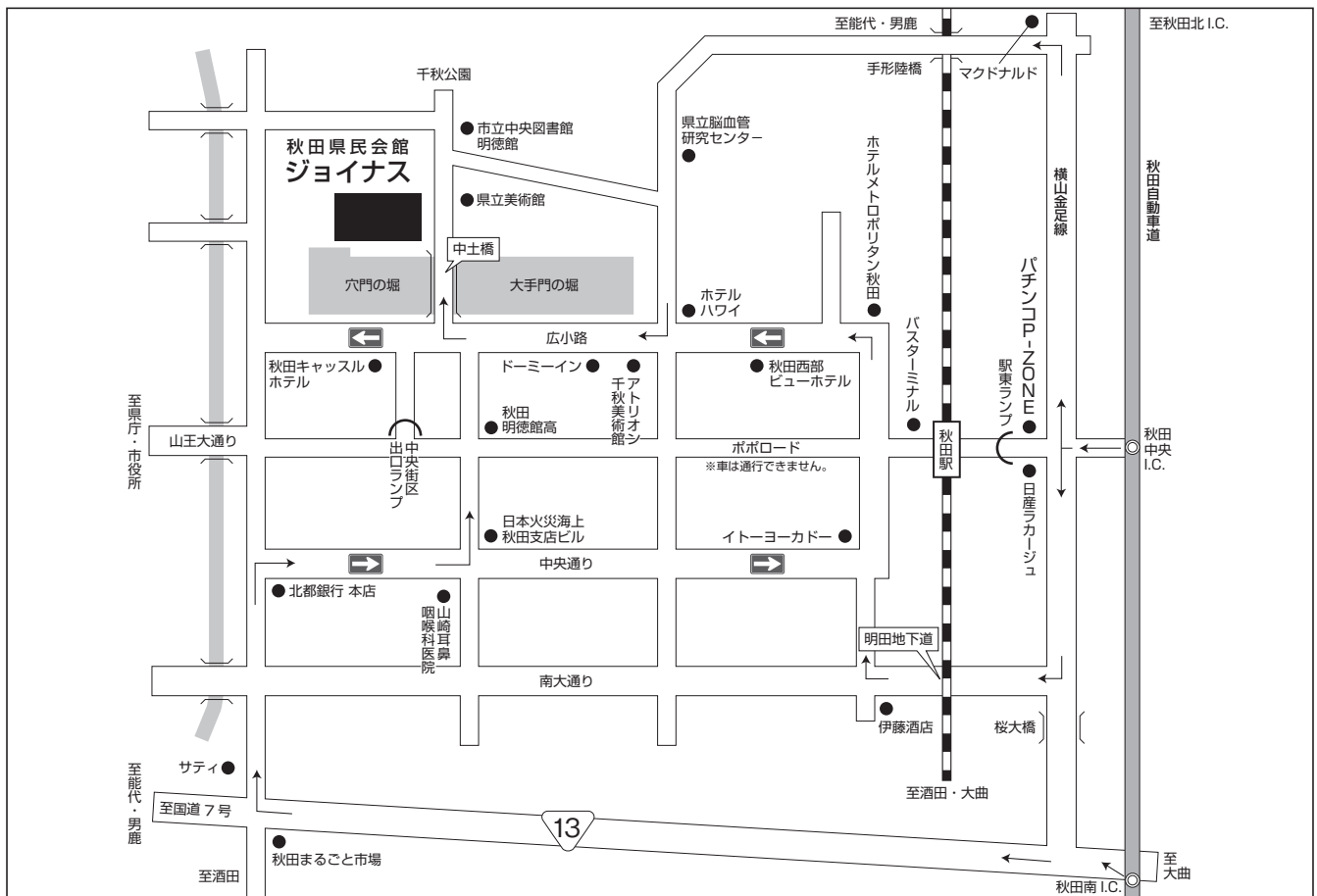
◎ 会場案内

水田作部会	3階	大研修室	野菜花き部会	3階	研修室4
畑作部会	3階	研修室5	流通加工部会	1階	研修室2(午後)
畜産部会	1階	研修室1	経営部会	1階	研修室2(午前)
果樹部会	2階	研修室3			

秋田県民会館 ジョイナス

〒010-0875 秋田市千秋明德町2番52号
 TEL. 018-837-1171
 FAX. 018-837-1173
 URL : <http://www.akisouko.com/joy/index.html>

[会場案内図]



[交通のご案内]

- 徒歩……………秋田駅より10分
- 車・タクシー…秋田空港から40分、秋田南インターより25分、秋田中央インターより15分、JR 秋田駅より3分
- バス……………秋田中央交通「秋田駅西口」バス乗り場より乗車>「千秋公園入口」下車 徒歩2分

連絡先：(独)農業・食品産業技術総合研究機構 東北農業研究センター企画管理部情報広報課

電話 019-643-3414, 3417

FAX 019-643-3588

<http://to-noken.ac.affrc.go.jp/>